

小児医療に関する医療機関の調査結果 (速報)

- 1 令和4年度における小児地域医療センター・小児地域支援病院の小児医療体制について
- 2 令和元年度における小児中核病院・小児地域医療センター・小児地域支援病院の入院・外来人数等について

岩手県 保健福祉部 医療政策室

令和4年度における小児医療体制の確認

調査様式2-1

1 小児地域医療センターについて (13病院)

圏域	病院名	確認項目										備考	
		24h 入院医療	周産期 母子医療 センター	小児科専門医育成、 一部サブスペ研修	小児科 医師 (人)	小児入院医療管理料							小児在宅医療、 子ども虐待 (CPT有り) の対応状況など
						管理料 区分	常勤医師 配置	看護体制	15歳未満を 入院させる病棟 ※	入院小児 救急	平均在院 日数		
1	盛岡 中央病院	○	○	○	8	4	8 (3名以上)	7:1	33	○	7日	-	・小児科標榜の医療機関 47機関 ・小児輪番参加
2	盛岡 盛岡 赤十字病院	○	○	-	4	4	4	7:1	27	○	6.1日	○	・小児輪番参加
3	盛岡 盛岡 医療センター	○	-	○	2	なし	-	10:1	8	-	-	-	・小児入院病床8床、10対1看護、小児輪番参加
4	盛岡 川久保病院	-	-	-	2	-	1	10:1	-	-	1日	-	
5	岩手 中部 中部病院	○	○	○	5	4	5 (3名以上)	7:1	22	○	6.5日	子ども虐待のみ 対応	・小児科標榜の医療機関 25機関
6	岩手 中部 北上済生会 病院	○	○	-	4	4	4	10:1	25	○	7日	○ 対応可	
7	胆江												・小児科標榜の医療機関 16機関
8	両磐 磐井病院	○	○	-	5	4	3 (3名以上)	7:1	22	○	9.1日	-	・小児科標榜の医療機関 16機関
9	気仙 大船渡病院	○	○	○	4	4	3 (3名以上)	7:1	26	○	9日	-	・小児科標榜の医療機関 4機関
10	釜石 釜石病院	○	-	-	1	なし	1	-	-	○	-	-	・小児科標榜の医療機関 7機関
11	宮古 宮古病院	○	○	○ (※2)	2	5	2 (1名以上)	10:1	-	○	6.7日	-	・小児科標榜の医療機関 8機関 ・※2 小児血液に係る研修制限あり
12	久慈 久慈病院	○	○	-	2	なし	2	10:1	-	○	-	-	・小児科標榜の医療機関 3機関
13	二戸 二戸病院	○	○	-	2	5	2 (1名以上)	10:1	-	○	-	-	・小児科標榜の医療機関 7機関

※小児専用病棟が無い場合には、主に小児の入院用病床数について記載

…地域周産期母子医療センター

令和4年度における小児医療体制の確認

調査様式2-2

2 小児地域支援病院について

圏域	病院名	確認項目											備考	
		隣接圏域から 1時間以上の アクセス	サブ スペ 研修	小児科 医師 (人)	小児入院医療管理料							小児在宅医療、 子ども虐待 (CPT有り) の対応状況 など		
					常勤医師 配置	看護体制	15歳未満を 入院させる 病棟 ※	小児専用の 病床 10床以上	入院 小児 救急	平均 在院 日数	特定 機能 病院			
岩手 中部	遠野病院	1時間以内の アクセス (釜石)	—	1名	1名	10:1	—	—	—	—	—	—	—	・小児科標榜の医療機関 25機関 (遠野市内は県病含め4機関)
胆江	胆沢病院	概ね1時間以内の アクセス (岩手中部、両磐)	—	2名	2名	7:1	—	—	—	—	—	—	—	・小児科標榜の医療機関 16機関 (奥州市内は県病含め14機関)
胆江	奥州市総合 水沢病院	概ね1時間以内の アクセス (岩手中部、両磐)	—	1名	1名	10:1	1	—	—	4	—	—	—	※R4は入院対応可

※小児専用病棟が無い場合には、主に小児の入院用病床数について記載

令和元年度小児科受療動向調査 (調査対象：小児中核病院・小児地域医療センター・小児地域支援病院)

1 入院の人数について

(1)小児科全体

単位：人

病院名	①令和元年6月12日(水) ※2 患者居住地											②年間 入院者数 (延べ人数)	1カ月 平均
	盛岡	岩手 中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計		
岩手医科大学付属病院	34	4	2	3	1	1	6	1	4	5	61	19,442	1,620
県立中央病院	19	2	0	0	0	0	0	0	1	1	23	6,904	575
盛岡赤十字病院	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4,472	373
盛岡医療センター	7	1	0	0	2	0	0	0	0	0	10	6,424	535
川久保病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	233	19
県立中部病院	1	10	6	0	0	1	0	0	0	0	18	6,867	572
北上済生会病院	1	11	10	0	0	0	0	0	0	1	23	9,168	764
県立磐井病院	0	0	2	6	0	0	0	0	0	2	10	5,888	491
県立大船渡病院	0	1	0	0	10	1	0	0	0	1	13	5,452	454
県立釜石病院	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	1,476	123
県立宮古病院	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	10	3,738	312
県立久慈病院	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	584	49
県立二戸病院	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	3,966	331
県立遠野病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	5
県立胆沢病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,740	145
参考H29 奥州市総合水沢病院	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	19	8,402	700
合計 (水沢病院を除く)	74	29	20	9	13	8	15	3	10	10	191	76,411	6,368
域内完結率 (黄色セル÷合計値)	94.6%	72.4%	0.0%	66.7%	76.9%	62.5%	60.0%	66.7%	50.0%				

※1 新生児の入院を含めた数値で統一 (含めずに報告した医療機関については合算済)

※2 総合水沢病院は、H30～R1の診療体制 (小児科医不在) の都合等により、H29.6.14(水)の受療動向及びH29年間件数を確認

令和元年度小児科受療動向調査 (調査対象：小児中核病院・小児地域医療センター・小児地域支援病院)

1 入院の人数について

(2)新生児 (生後28日まで)

単位：人

病院名	①令和元年6月12日(水) ※2 患者居住地											②年間 入院者数 (延べ人数)	1カ月 平均
	盛岡	岩手 中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計		
岩手医科大学付属病院	6	1	0	0	0	0	2	0	1	0	10	3,182	265
県立中央病院	8	1	0	0	0	0	0	0	0	1	10	952	79
盛岡赤十字病院	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2,650	221
盛岡医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川久保病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立中部病院	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	7	1,869	156
北上済生会病院	0	4	2	0	0	0	0	0	0	1	7	4,473	373
県立磐井病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1,434	120
県立大船渡病院	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	1,089	91
県立釜石病院	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	571	48
県立宮古病院	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8	2,099	175
県立久慈病院	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	151	13
県立二戸病院	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	1,502	125
県立遠野病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立胆沢病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1
参考H29 奥州市総合水沢病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 (水沢病院を除く)	18	9	5	0	2	1	10	1	4	4	54	19,978	1,665
域内完結率 (黄色セル÷合計値)	94.4%	77.8%	0.0%	-	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	75.0%				

…R4時点における地域周産期母子医療センター

※2 総合水沢病院は、H30～R1の診療体制 (小児科医不在) の都合等により、H29.6.14(水)の受療動向及びH29年間件数を確認

令和元年度小児科受療動向調査 (調査対象：小児中核病院・小児地域医療センター・小児地域支援病院)

2 外来の人数について

(1)小児科全体

単位：人

病院名	①令和元年6月12日(水) ※3 患者居住地											②令和元年度 年間外来者数 (延べ人)	1カ月 平均
	盛岡	岩手 中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	県外	合計		
岩手医科大学付属病院	50	14	6	1	3	0	1	1	2	4	82	17,754	1,480
県立中央病院	43	2	1	1	0	0	1	0	0	1	49	10,815	901
盛岡赤十字病院	37	2	0	0	0	0	0	0	0	0	39	9,410	784
盛岡医療センター	11	8	0	2	3	0	0	1	1	1	27	3,496	291
川久保病院	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	12,018	1,002
県立中部病院	0	29	10	0	0	0	0	0	0	0	39	8,671	723
北上済生会病院	0	44	18	0	0	0	0	0	0	3	65	9,338	778
県立磐井病院	0	0	0	26	0	0	0	0	0	5	31	14,840	1,237
県立大船渡病院	0	0	0	0	26	1	0	0	0	4	31	11,200	933
県立釜石病院	1	1	0	0	0	44	0	0	0	0	46	9,327	777
県立宮古病院	0	0	0	0	0	0	22	0	0	1	23	7,057	588
県立久慈病院	0	0	0	0	0	0	2	38	0	0	40	10,246	854
県立二戸病院	1	0	0	0	0	0	0	1	20	3	25	5,361	447
県立遠野病院	0	28	0	0	1	0	0	0	0	0	29	4,715	393
県立胆沢病院	1	0	18	0	0	0	0	0	0	0	19	7,724	644
参考H29 奥州市総合水沢病院	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	35	10,110	843
合計 (水沢病院を除く)	205	128	53	30	33	45	26	41	23	22	606	141,972	11,831
参考 域内完結率※4 (黄色セル÷合計値)	98.5%	78.9%	34.0%	86.7%	78.8%	97.8%	84.6%	92.7%	87.0%				

※3 総合水沢病院については、H30～R1の診療体制（小児科医不在）の都合等により、H29.6.14(水)の受療動向を確認

※4 各地域の小児科を標榜する診療所・クリニックを調査対象としていないため、実際の「外来」の地域完結率とは異なる。

1 ③令和元年度の小児科の年間入院者数における主な傷病名等（人数・件数不要、1～10種類程度、順不同）

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
1 岩手医科大学附属病院	超低出生体重児	低出生体重児	熱性痙攣	極低出生体重児	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	ファロー四徴症	肺動脈閉鎖症	急性肺炎	急性上気道炎
2 岩手県立中央病院	急性気管支炎 急性細気管支炎	インフルエンザ、 ウイルス性肺炎	ウイルス性腸炎	肺炎等	上気道炎	食物アレルギー	熱性けいれん	喘息	川崎病	てんかん
3 盛岡赤十字病院	アナフィラクトイド 紫斑	尿路感染症	川崎病	感染症胃腸炎	急性扁桃炎	急性肺炎	極低出生体重児	ダウン症候群		
4 国立病院機構盛岡医療センター	脳性麻痺	てんかん	低酸素脳症	ホフマン症候群	誤嚥性肺炎					
5 川久保病院	急性胃腸炎 ※ロタウイルス他	熱性けいれん	気管支炎	肺炎	細菌感染症	インフルエンザウイルス感染症	尿路感染症	気管支喘息発作	腸重積	
6 岩手県立中部病院	帝切児症候群	急性気管支炎	急性胃腸炎	急性上気道炎	食物アレルギー	小児喘息	インフルエンザ	急性肺炎	熱性けいれん	ケトン血性嘔吐症
7 北上済生会病院	帝切児症候群	ウイルス性肺炎	小児喘息性気管支炎	ロタウイルス性胃腸炎	急性扁桃炎	急性気管支炎	早産児	RSウイルス肺炎	急性細気管支炎	新生児黄疸
8 岩手県立磐井病院	喘息	急性気管支炎	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	急性細気管支炎	急性咽頭炎	感染症と推定される下痢及び胃腸炎	皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの	喘息発作重積状態	多部位及び部位不明の急性上気道感染症	けいれん<痙攣>、他に分類されないもの
9 岩手県立大船渡病院	帝切児症候群	急性気管支炎	新生児黄疸	軽度新生児仮死	熱性痙攣	低出生体重児	急性肺炎	胎児の羊水感染症	糖尿病2型 ※同一患者の計画的再入院	RSウイルス細気管支炎
10 岩手県立釜石病院	急性気管支炎	急性胃腸炎	新生児疾患	急性上気道炎	急性肺炎	損傷、中毒及びその他の外因	インフルエンザ	てんかん	ウイルス感染症	アレルギー性血管炎
11 岩手県立宮古病院	帝切児症候群	急性気管支炎	新生児感染症	B群溶連菌感染母体より出生した児	低出生体重児	急性胃腸炎	ノロウイルス性胃腸炎	川崎病	熱性痙攣	細菌性胃腸炎
12 岩手県立久慈病院	新生児黄疸	気管支喘息	急性胃腸炎	急性気管支炎	気管支肺炎	熱性痙攣	細菌性肺炎	胎児の羊水感染症	低出生体重児	新生児仮死
13 岩手県立二戸病院	急性肺炎	RSウイルス気管支炎	急性気管支炎	帝切児症候群	低出生体重児	早産児	新生児一過性多呼吸	胎児の羊水感染症	新生児黄疸	熱性痙攣
14 岩手県立遠野病院	急性胃腸炎	脱水症	ビタミン欠乏症	急性上気道炎	熱性痙攣	急性気管支炎	嘔吐症	便秘症	アレルギー性鼻炎	マイコプラズマ肺炎
15 岩手県立胆沢病院	気管支喘息発作	細菌性肺炎	急性気管支炎	細菌性胃腸炎	熱性痙攣	インフルエンザA型	感染性胃腸炎	RSウイルス気管支炎	RSウイルス肺炎	急性咽頭炎
16 奥州市総合水沢病院	急性肺炎	急性気管支炎	感冒性胃腸炎	アセトン血性嘔吐症	クレープ性気管支炎	気管支喘息	急性咽頭炎	急性細気管支炎	おたふくかぜ	尿路感染症

※ 総合水沢病院は、H30～R1の診療体制の都合等により、H29実績ベースにて確認

1 ④令和元年度の入院に関連して他の病院へ転院・紹介をしたケース

1	岩手医科大学附属病院	ア	イ	ウ	エ	オ		
	傷病名	ミトコンドリア脳筋症	両未熟児網膜症	低出生体重児	新生児気胸			
	備考	手術日までのNHFによる呼吸管理を目的に転院した。	未熟網膜症、網膜剥離の治療のため転院した。	状態安定のため転院した。	呼吸が落ち着いてきたため転院した。			
2	岩手県立中央病院	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	傷病名	EBウイルス関連血球貧食症候群	呼吸不全、進行性骨化性線維異形成症	急性脳症	膀胱腫瘍	てんかん発作	ウイルス関連血球貧食症候群	早産低出生体重 新生児仮死、動脈管開存
	備考	重症血液疾患のため	重症 気管切開術のため	重症のため	悪性腫瘍の疑い	主治医が岩手医大	重症血液疾患のため	症候性動脈管開存のため
3	盛岡赤十字病院	ア	イ	ウ	エ	オ		
	傷病名							
	備考							
4	国立病院機構盛岡医療センター	ア	イ	ウ	エ	オ		
	傷病名							
	備考							
5	川久保病院	ア	イ	ウ	エ	オ		
	傷病名							
	備考							
6	岩手県立中部病院	ア	イ	ウ	エ	オ		
	傷病名	新生児一過性多呼吸	腸穿孔	腸間膜のう腫	ランゲルハンス細胞組織球症			
	備考	加療のため	手術のため	手術のため	精査・加療のため			

1 ④令和元年度の入院に関連して他の病院へ転院・紹介をしたケース

7	北上済生会病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名	劇症型心筋炎	横紋筋融解	新生児一過性田呼吸	急性硬膜外血腫	早産児
	備考					先天奇形のため
8	岩手県立磐井病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名	急性白血病	仙骨部褥瘡、アレキサンダー病	急性脳症、神経線維腫症I型	無脾症、肺動脈閉鎖、右室性単心室、低酸素性脳症、症候性てんかん	肥厚性幽門狭窄症疑い
	備考	専門的な加療が必要	基礎疾患あり集約的な治療が必要	集中治療が必要	治療が必要	精査が必要
9	岩手県立大船渡病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名	低ガンマグロブリン血症	急性肺炎	急性肺炎	慢性呼吸不全	中心静脈カテーテル感染症
	備考	増悪のため転院	手術目的で転院	症状悪化が予想され転院	手術目的で転院	併存病の精査加療目的
10	岩手県立釜石病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名	良性肝腫瘍				
	備考	精査目的で紹介				
11	岩手県立宮古病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名	川崎病	先天性表皮水疱症	腸重積症	帝切児症候群	脳症の疑い
	備考	発熱持続のため	生下時より四肢の表皮剥脱を認め白色ワセリン塗布し経過。5病日朝より発熱、ルート確保も困難なことから搬送	手術的治療必要なため	TAMの増悪、もしくは先天性白血病の可能性	強直間代性の痙攣、ミダゾラム.2mg/kgで再投与後ホストイン開始。ホストイン終了後は痙攣なくバイタルも落ち着いたが、意識の回復なく搬送

1 ④令和元年度の入院に関連して他の病院へ転院・紹介をしたケース

12	岩手県立久慈病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名	胃食道逆流症	肥厚性幽門狭窄症			
	備考	精査加療目的で転院	手術目的で転院			
13	岩手県立二戸病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名					
	備考					
14	岩手県立遠野病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名					
	備考	特になし				
15	岩手県立胆沢病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名	ロタウイルス性胃腸炎に伴う痙攣				
	備考	痙攣発作を繰り返したため				
16	奥州市総合水沢病院	ア	イ	ウ	エ	オ
	傷病名					
	備考	転院・紹介なし				

※ 総合水沢病院は、H30～R1の診療体制の都合等により、H29実績ベースにて確認

2③令和元年度の小児科の年間外来者数における主な傷病名等（人数・件数不要、1～10種類程度、順不同）

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
1 岩手医科大学附属病院	てんかん	超低出生体重児	急性上気道炎	心室中隔欠損症	低出生体重児	極低出生体重児	急性胃腸炎	ファロー四徴症	心房中隔欠損症	急性リンパ性白血病
2 岩手県立中央病院	急性上気道炎	急性気管支炎、肺炎	急性胃腸炎	気管支喘息	食物アレルギー	てんかん	新生児フォローアップ	発達障がい	検尿異常	低身長
3 盛岡赤十字病院	EBウイルス感染症	川崎病	機能的心雑音	心室中隔欠損症	易感染症	片頭痛	脳梁欠損症	ネフローゼ症候群	急性咽頭炎	思春期早発省
4 国立病院機構盛岡医療センター	アトピー性皮膚科	食物アレルギー	気管支喘息	潰瘍性大腸炎	膠原病	皮膚欠乏性湿疹	皮脂欠乏症	アレルギー性鼻炎	アレルギー性結膜炎	発達障害
5 川久保病院	感染性胃腸炎	手足口病	RSウイルス感染症	急性気管支炎	気管支喘息	急性咽頭炎	アレルギー性鼻炎	アトピー性皮膚炎	溶連菌感染症	便秘症
6 岩手県立中部病院	気管支喘息	急性気管支炎	食物アレルギー	てんかん	急性咽頭炎	急性胃腸炎	インフルエンザ			
7 北上済生会病院	小児喘息性気管支炎	急性胃腸炎	脱水症	嘔吐症	感染性胃腸炎	急性呼吸不全	便秘症	湿疹	おむつ皮膚炎	高ビリルビン血症
8 岩手県立磐井病院	急性気管支炎	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	喘息	急性咽頭炎	その他の原因による熱及び不明熱	体液量減少(症)	その他の皮膚炎	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎〈鼻アレルギー〉	多部位及び部位不明の急性上気道感染症	循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候
9 岩手県立大船渡病院	急性気管支炎	急性上気道炎	気管支喘息	急性胃腸炎	便秘症					
10 岩手県立釜石病院	急性気管支炎	急性上気道炎	急性胃腸炎	湿疹	アレルギー性鼻炎	皮脂欠乏症	嘔吐症	小児喘息	急性咽頭炎	急性結膜炎
11 岩手県立宮古病院	急性気管支炎	急性上気道炎	急性咽頭炎	急性胃腸炎	ビタミンK欠乏症	脱水症	便秘症	急性咽頭気管支炎	嘔吐症	インフルエンザ
12 岩手県立久慈病院	急性咽頭気管支炎	急性胃腸炎	皮脂欠乏性湿疹	気管支喘息	便秘症	おむつ皮膚炎	じんま疹	インフルエンザ	熱性痙攣	食物アレルギー
13 岩手県立二戸病院	急性気管支炎	急性上気道炎	急性咽頭炎	急性胃腸炎	湿疹	アレルギー性鼻炎	気管支喘息	気管支喘息発作	インフルエンザ	脱水症
14 岩手県立遠野病院	アレルギー性鼻炎	急性上気道炎	急性気管支炎	発熱	急性胃腸炎	急性咽頭炎	インフルエンザの疑い	気管支喘息	嘔吐症	インフルエンザA型
15 岩手県立胆沢病院	急性上気道炎	急性気管支炎	アレルギー性鼻炎							
16 奥州市総合水沢病院	急性肺炎	急性気管支炎	感冒性胃腸炎	アセトン血性嘔吐症	クレープ性気管支炎	気管支喘息	急性咽頭炎	急性細気管支炎	おたふくかぜ	尿路感染症

※ 総合水沢病院は、H30～R1の診療体制の都合等により、H29実績ベース。また、外来データが取得できないため、入院の傷病名と同一に記入があったもの。

小児地域医療センター（現行の保健医療計画作成時の「小児医療の体制構築に係る指針」より抜粋）

- 日本小児科学会の「地域小児科センター」に相当
- 医療機関に求められる事項として以下のとおり。医療機関の主な例としては地域小児科センター（NICU型）
 - ・ 高度の診断・検査・治療や勤務医の専門性に応じた専門医療の実施
 - ・ 一般小児医療を担う医療機関では、対応が困難な患者や常時監視・治療の必要な患者等に対する入院診療の実施
 - ・ 小児科を標榜する診療所や一般病院等の地域における医療機関と、小児医療の連携体制を形成することによる、地域で求められる小児医療を全体として実施
 - ・ より高度専門的な対応については、高次機能病院と連携
 - ・ 療養・療育支援を担う施設との連携や、在宅医療を支援、家族に対する精神的サポート等の支援の実施

小児地域支援病院（現行の保健医療計画作成時の「小児医療の体制構築に係る指針」より抜粋）

- 日本小児科学会の「地域振興小児科A及びB」に相当
- 地域振興小児科A
 - ・ 小児中核病院・小児地域医療センターいずれもない医療圏において最大の病院小児科
 - ・ 小規模な入院診療
 - ・ 地域医療機関及び隣接医療圏と連携協力して小児救急医療・新生児医療を実施
- 地域振興小児科B
 - ・ 小児中核病院・小児地域医療センターがある医療圏において下記機能のいずれかを担う
小児救急医療、小児初期救急医療、新生児医療、特定の専門診療、障害児医療
 - ・ 小児中核病院・小児地域医療センターを補助

870-(110)

表2 中核病院小児科、地域小児科センター、地域振興小児科A、地域振興小児科Bの定義

中核病院小児科（小児中核病院）

三次医療圏に1か所
 三次救急医療・集中治療、専門医療を提供
 周産期母子医療センター（できれば総合～）
 小児科専門医育成、サブスペシャルティナー研修
 小児科医師20名目標、小児入院医療管理料1～2
 常勤医師派遣機能
 小児在宅医療、子ども虐待対応（CPTを有する）

地域小児科センター（小児地域医療センター）

二次医療圏・小児医療圏に1か所以上
 24時間の入院医療・二次救急医療、専門医療を提供
 圏域で24時間初期救急機能が他にない場合は、それを担当する
 周産期母子医療センター
 小児科専門医育成、一部のサブスペシャルティナー研修
 常勤小児科医師9名目標、小児入院医療管理料2～3
 小児在宅医療、子ども虐待対応（CPTを有する）

地域振興小児科A（小児地域支援病院）

中核病院小児科・地域小児科センターいずれもない医療圏において最大の病院小児科
 隣接医療圏からアクセス1時間以上
 小規模な入院診療
 地域医療機関および隣接医療圏と連携協力して小児救急医療・新生児医療を行う
 常勤小児科医師3名目標、小児入院医療管理料4～5

地域振興小児科B

中核病院小児科・地域小児科センターがある医療圏において下記機能のいずれかを担い、中核病院小児科・地域小児科センターを補助する
 小児救急医療、小児初期救急医療、新生児医療、特定の専門診療、障害児医療、サブスペシャルティナー研修
 地域医療機関および隣接医療圏と連携協力して小児救急医療・新生児医療を行う
 常勤小児科医師は様々、小児入院医療管理料2～4
 一部で、小児在宅医療、子ども虐待対応（CPTを有する）

第4章 保健医療提供体制の構築 第2節 良質な医療提供体制の整備、医療機関の機能分担と連携の推進

3 良質な医療提供体制の整備 (8) 小児医療の体制

(図表4-2-3-8-3) 小児医療体制の状況 (令和2(2020)年10月1日現在)

区分	一般小児医療 及び初期小児救急医療				小児専門医療及び入院小児救急医療		高度小児専門医療 及び小児救命救急医療
	小児科標榜 診療所・病 院	休日夜間 急患センター	在宅 当番医制	小児地域支援病院	小児地域医療センター	小児輪番制 参加施設名	小児中核病院 (高度救命救急センター)
全県	67施設	4施設	10地区	3施設	12施設	1地区5施設	1施設
盛岡	29施設	盛岡市夜間 急患診療所	盛岡市		県立中央病院 盛岡赤十字病院 盛岡医療センター 川久保病院	岩手医科大学 附属病院 県立中央病院 盛岡赤十字病院 盛岡医療センター 川久保病院	岩手医科大学附属病院 (岩手県高度 救命救急センター)
岩手 中部	11施設		花巻地区 北上地区 遠野地区	県立遠野病院	県立中部病院 北上済生会病院		
胆江	8施設	胆江地区 休日診療所 奥州市 小児夜間診療所	胆江地区	県立胆沢病院 奥州市総合水沢病院			
両磐	6施設		両磐地区		県立磐井病院		
気仙	2施設		気仙地区		県立大船渡病院		
釜石	2施設		釜石地区		県立釜石病院		
宮古	3施設	宮古市 休日急患診療所			県立宮古病院		
久慈	3施設		久慈地区		県立久慈病院		
二戸	3施設		二戸地区		県立二戸病院		